

SHIONOGIの重要課題(マテリアリティ)

2023年度は社内外の環境変化を踏まえてリスクと機会の見直しを行い、2022年度に認識したリスク/機会およびマテリアリティに変更はないことを確認しました。一方で、以下の理由によりマテリアリティの一部修正を行うとともに、各マテリアリティの指標を新たに設定し、取締役会にて承認を得ました。

- 「持続可能な社会保障への貢献」は「医療アクセスの向上」を実現するために必要な要素であることから「医療アクセスの向上」に統合
- 「感染症の脅威からの解放」や「健やかで豊かな人生への貢献」の実現にはイノベーションを起こし続けることが必要であることから「イノベーションの創出」を追加

マテリアリティ特定プロセス

課題の抽出

- リスクと機会の評価**
- 社内外の環境変化に対する認識をもとに機会と脅威を整理
 - 社会、事業、社内の3軸で評価
 - ISO26000やESG開示基準の観点を考慮

- 分類**
- 意味合いから価値創出、持続可能な社会への貢献、基盤の3要素に整理

ステークホルダーへのヒアリング

- 投資家や有識者などの社外ステークホルダーおよび社内関連部署にヒアリングを行い、妥当性を確認

マテリアリティの特定とモニタリング

- 抽出された事項の優先順位付け**
- 3要素ごとに影響度と発生・実現可能性の2軸で評価
 - 影響度:ステークホルダーエンゲージメントから得た期待値を考慮
 - 発生・実現可能性:時間軸を考慮

- 取締役会での承認**
- 経営会議での議論を経て取締役会にて承認

- モニタリング**
- 環境変化およびリスクと機会の評価に基づき、定期的に経営会議にてマテリアリティ見直し要否を検討
- 見直しが必要な場合は取締役会に上程

マテリアリティ	指標	主な取り組み実績	特に貢献するSDGs	
顧客・社会に新たな価値を創出するために取り組む重要課題	感染症の脅威からの解放 P.16、P.48、P.54、P.58、P.62、P.66	<ul style="list-style-type: none"> 薬剤耐性 (AMR) をはじめとする感染症薬の適正使用の推進 感染症治療薬の成長/売上高 感染症トータルケアプラットフォームの実現/ワクチンのグローバル展開と売上高 今後のパンデミックに備えるべき重点感染症*1への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症薬の売上:829億円(国内) 感染症治療薬のパイプライン:13品目 感染症予防ワクチンのパイプライン:6品目 Webセミナーなどを活用した感染症に関する正しい知識の普及啓発活動の実施数:17件 	3 すべての人に健康と福祉を
	健やかで豊かな人生への貢献 P.48、P.54、P.62、P.66	<ul style="list-style-type: none"> QOL疾患治療薬の成長/売上高 QOL疾患トータルケアプラットフォームの実現/DTxの医療への浸透 こども・保護者・就労者への適切な情報と支援の提供 	<ul style="list-style-type: none"> QOL疾患関連の売上*2:682億円(国内) QOL疾患治療薬のパイプライン:24品目 発達障がいに対する理解促進のための啓発セミナーへの参加者数:2,398人 	
	イノベーションの創出 P.62、P.66	<ul style="list-style-type: none"> 技術・イノベーションの創出/社会実装 新たにPhase2/3に移行した品目数 Phase2/3の品目数 医薬品以外のソリューションの創出 	<ul style="list-style-type: none"> パイプライン数:43品目 医薬品、ワクチン以外のヘルスケアソリューション:7件 	
	医療アクセスの向上 P.22、P.54、P.62	<ul style="list-style-type: none"> LICs/LMICsへの製品・サービスの提供 医療へのアクセス改善に向けた地域基盤・情報提供の強化 未承認国における医薬品アクセスの確保 	<ul style="list-style-type: none"> MPPとの提携を通じたエンシトレルビルの提供可能国:117カ国 GARDP、CHAIとの提携を通じたセフィデロコルの提供可能国数:135カ国 WHO必須医薬品リストへの掲載 グイーブ社によるドルテグラビル、カボテグラビルの提供国数:140カ国以上 Mother to Mother SHIONOGI Projectにおいて医療サービスを受けた延べ人数:160,151人(2015年10月~2023年11月) 	
持続可能な社会へ貢献するために取り組む重要課題	責任ある製品・サービスの提供 P.84	<ul style="list-style-type: none"> 品質課題を起因とした顧客不利益の回避 連続生産技術の複数製品への展開/DX化による高品質・安定供給の実現 製品・サービスによる重大な健康被害ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> Quality Cultureの醸成活動などの推進 製造所監査などを通じた管理監督活動 	9 産業と資源効率の改善につなぐ
	サプライチェーンマネジメントの強化 P.82	<ul style="list-style-type: none"> 製品の欠品ゼロに向けた仕組みづくり 継続的な重要サプライヤー評価と対話 	<ul style="list-style-type: none"> 2023年度質問票またはEcoVadisによるアセスメントを行った会社数:68社 サプライヤーおよび製品製造所のマルチソース化 安定供給に向けたサプライヤーとの連携体制の構築 面談、説明会による働きかけを実施した会社数:29社 	
	人権の尊重 P.85	<ul style="list-style-type: none"> 人権デューデリジェンスの継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 現代奴隷法に基づく声明文の表明 人権インパクトアセスメントの実施 	
	環境への配慮 P.86	<ul style="list-style-type: none"> 「SHIONOGIグループEHS行動目標」(環境)の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ1・2:マーケットベース):72,023t-CO₂ 総エネルギー消費量:333,595MWh 再生可能エネルギー由来電力の使用率:40.8% 	
経営基盤を強化するために取り組む重要課題	成長を支える人材の育成・確保 P.74	<ul style="list-style-type: none"> 競争力のある多様な人材の確保 グローバル人材の育成 マネジメント人材の多様化 「SHIONOGIグループEHS行動目標」(安全衛生)の達成 健康経営目標の達成 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員のスキルアセスメントの完了 1人当たりの教育研修費:8.1万円 自己投資支援制度利用者率:46.5% 女性マネジャー比率:14.7% 度数率:0.24 健康診断受診率:100% 喫煙率:3.2% 	12 つくる責任 つかう責任
	コンプライアンスの遵守 P.102	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス活動およびプロモーション活動のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> Global Compliance & Quality Weekの実施 全従業員対象のコンプライアンスに関する意識調査の実施と分析結果のフィードバック 	
	ガバナンスの強化 P.90、P.92	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会の実効性評価の実施と継続的な改善施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> スキル・マトリックスの見直し 指名諮問委員会での社長のパフォーマンスレビューの実施 株主・投資家と社外取締役との対話の実施 	

*1 公衆衛生危機管理において、救命、流行の抑制、社会活動の維持等、危機への医療的に対抗手段となる重要性の高い医薬品や医療機器等 (MCM) の利用可能性を確保することが必要な感染症

*2 国内医療用医薬品売上のうち、感染症薬の売上を除いた金額

